

神話の地・縁結びの地

恋のパワースポットめぐり

日本最古の歴史書・古事記の「稲羽の白兔（因幡の白うさぎ）は大国主命と八上姫が白うさぎに導きによって結ばれる日本最古のラブストーリー

白兔神社
神話の白うさぎ（白兔神）を祀る神社。縁結びの神であり、皮膚病や傷の平癒にも後利益があるとされている。

鳥取駅＝道の駅かわはら＝売沼神社（めぬまじんじゃ）

9:00 9:30 9:35/10:05

〈片道徒歩7分〉 〈片道徒歩7分〉

＝成田山青龍寺＝福本白兔神社＝賀露港（昼食）＝

10:25/11:10 11:15/12:00 12:40/13:30

因幡の白兔伝説の地

＝白兔神社・白兔の丘＝鳥取駅

13:45/15:00 15:25

*鳥取道ご利用の方は、道の駅かわはらから



成田山青龍寺

福本白兔神社の本殿といわれる社を移転安置しています。宝物館には、災難除けの守護神が納められています。



福本白兔神社

祭神は、大兔明神（おおと）であり、白兔大明神とも言われています。内陣の厨子には、波ウサギが彫られています。



売沼神社（めぬまじんじゃ）
今の河原町に八上姫が住んでおり、八上姫を祀っています。この地で大国主命との出会いがありました。

白兔海岸

因幡の白うさぎの舞台となった海岸。白兔神が流れ着いた島とされる淤岐ノ島（おきのしま）や大国主命が八上姫を恋い結うために名づけた恋島（こいしま）もあります。白兔神社の手前には、白兔神が傷口を洗いガマの穂を傷つけて全治したとされる霊池・身洗ノ池（みたらしのいけ）があります。

～旅の終わりに【結び石】で願掛け～

白兔神社の社務所で、結び石をいただきます。（500円）

良縁・子宝・繁盛・飛躍・健康の5つのご縁の石が入っています。

神社の鳥居の上に乗れば、成就も近いかも！お守りにしても結構です。

